

地方公共団体	熊本県玉名市
所在地	熊本県玉名市岩崎163
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	人口減少の中で地域の活力を維持し、住民にとっていつまでも暮らしやすい地域を目指す。
地域の現状・課題	対象エリアは、令和4年4月に過疎地域に指定された玉名市天水地区である。人口の減少が止まらず、地域の担い手が減っている。当該地域には高校が無いために、高校や大学進学時に転出する者が多い。また農業・観光以外に仕事が少ないために、結果的に転出する者が多い。
地域が持つ資源	農業が基幹産業である。古くから「温州みかん」をはじめとする果樹栽培が盛んであるが、丘陵地、山肌での栽培のために就農者が減少している。近年は、共販から脱して、自らの農産物のブランド化を目指す農業者もあらわれたり、施設園芸温泉も湧出していることから観光も行われている。
取組内容	次の4つの取組を行う (1) 地域の人々のつながり創り(ソーシャルキャピタルの創造) (2) 小さな活動主体をたくさんつくる (3) 地域運営組織の設立 (4) 関係人口の促進
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果(変化)	(環境)人口減少に適応した地域をつくる 人口減少でも豊かに暮らせるための住民主体の地域づくりをおこなう。そのために、まず人々が協力しあうためにソーシャルキャピタル創りを目指す。地域住民の面識が整った時点で、人口が減少するなかでも、地域として必要な取り組みを数多く開始する。 (経済)「地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する」 本地域の基幹産業である「農業」を軸に、新たなバリューチェーンを構築する。これまで生産者は、市場へ農産物を納めるだけであったが、どのようなものが売れるか。そのためにはどのような農作物を栽培し収穫すべきか、さらに収穫した農作物をどのように市場に提供し、付加価値を高めるといった事業展開する。 (社会)「人口減少を和らげる」 地域の魅力や課題を、多くの人に関わってもらおうための関係人口構築事業を展開することで、地域のファンやかかわりしろを構築する。また、住民主体のまちづくりを実施することで、子育てのかかわりしろを創り、多様な人材による地域での子育て、さらには人材育成につなげる。このような取り組みによって「いつまでも暮らしやすい地域」の実現を目指す。またEVなどを推進し、移手段の多角化を図る。

